

(様式第 6 号)

我一小発第 2 7 号
令和 7 年 7 月 1 日

我孫子市教育委員会 あて

我孫子市立我孫子第一小学校 学校運営協議会
会 長 齊 藤 修 一

令和 7 年度 第 2 回 学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第 1 2 条の規定について、次のとおり報告します。

出席委員氏名：齊藤修一 荒井英徳 伊關美希子 橋本恵美 穂吉香織
平塚響子 左近司詩子 中野直美 五十嵐絢子（1 名欠席）

記録者氏名：五十嵐絢子

（令和 7 年 6 月 2 6 日実施）

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
○はじめの言葉	教頭	
○校長あいさつ	校長	運動会後の各学年の校外学習や日常の様子について説明。
○協議（進行 会長） 1 授業参観をもとに 意見交換	委員	・ 1 年生が入学式の頃よりとても成長している。3 学級の学年の様子を見ると、一クラスあたりの人数が少なく、教室に余裕がある。よい環境だと思う。
	委員	・ 子ども達は、落ち着いて学習しており、先生に注目してよく話を聞いていた。ノートをしっかり書かせていて、1 年生からの積み重ねが高学年のノートに表れていた。日頃から書かせることが大切だと感じた。
	委員	・ 校舎内、昇降口などとてもきれいで、学校全体が落ち着いていることがわかる。
	委員	・ 1 年生も、休み時間のうちに学習の準備をして、礼儀などもよく身に付いていて素晴らしかった。
	委員	・ 数年前は、空いていた教室などが、算数教室など子ども達のために活用されていてとても良いと思った。
		・ 目を見て挨拶する子どもたちがたくさんいて、嬉しかった。

	教頭	・ランドセルロッカーが新しくなっている教室があった。これから、全ての教室がそうになっていくのか。 ・毎年、教育委員会に要望をしているが、予算や優先順位の問題もあり、全体の見通しは立っていない。今年度も要望していく。
	委員	・1年生への丁寧な指導、落ち着いた学習の様子を見ていて、こうした積み重ねが学習のベースとなって、高学年の学習につながっていくということを感じた。
	会長	・担任の先生の個性が、学級の雰囲気をそれぞれ作っていると感じた。それぞれとても良かった。
2 今年度の白山中学校区の小中一貫教育の取組について	教頭	令和7年度の白山中学校区の小中一貫教育の取組について資料に基づき説明。 昨年度からの変更・検討内容 ・キャリア教育の職業人講話については、3校で講師や職業について情報共有する。 ・合同会議の持ち方について、今後検討していく。
	会長 委員	・質問、意見等はあるか。 ・一同賛同。
3 学校支援ボランティアの地域への協力依頼について	教頭	例年保護者を中心にボランティアを募っている。日常的に関わってくださる地域の方もいる。一方で地域の輪を広げるのが本校の課題となっている。ぜひ、地域への協力依頼をお願いしたい。ただ、安全の観点から、全く知らない不特定多数の方というより、皆さんのお知り合いの方でお願いできればと思う。
	委員	・南地区社会福祉協議会や、民生委員に投げかけることはできる。
	委員	・植木の剪定などは、「おやじの会」にお願いするのがいいと思う。
	委員	・除草作業や落ち葉掃きはいつきてもいいのか。それであれば、ハードルは下がると思う。
	委員	・内容によっては、日付を決めてもらった方が、出ていきやすい。
	推進員 委員	・夏の水やりはシフト制、落ち葉掃きも10月から12月頃を重点期間として案内をしている。 ・まず、私たちが、今日登録をしていく。

4 コミュニティ・スクールの広報活動について	会長	・相談してもらってよかった。役に立てると思う。
	教頭	各学校のコミュニティ・スクールについて、学校 HP で紹介している。HP の閲覧者も多いため、本校でもぜひ発信していきたいと考えている。協力いただける方など、いればご検討いただきたい。
	委員	・ ICT に長けている人は、いると思う。
	委員	・ 地域で ICT 支援員をやっている方に、地域の立場でお願いしてみるのはいかがでしょうか。
	教頭	・ 引き続き相談していきたい。
	委員	・ 顔の見える地域の方の協力という点で、自治会の方など、学校は今、つながりをもっているのか。自治会長など、実は同じ方が、地域の色々なところで役割を担っていることもあり、つながりをもっておくとよいと思う。
	委員	・ コロナ前は、入学式や卒業式など学校行事で顔を合わせる機会があった。地域の方も、そこで校長や教頭の顔を知ることが多かった。
	校長	・ 自治会とのつながりについては、有事の際の避難所運営の際に、必要になると思っている。学校で避難所を開設する際には、自治会と学校で役割分担をする必要がある。
	委員	・ これに特化した集りを持ってもよいのではなか。
	委員	・ 市の防災訓練の機会はどうか。
○おわりの言葉	校長	・ 市主催の防災訓練には、学校は入っていないため難しい。しかし、マニュアルでは市と自治会が中心となつての運営計画だが、緊急時は運営担当者よりも地域の方がまず学校に来てしまう。そうした場面ではどうしても学校と自治会の連携が必要である。有事の前に、自治会の方々にご理解いただく必要があると思っている。
	委員	・ 自治会の会長は高齢な方が多い。有事には実際に動けるような自治会代表の方と連携できるとよいと思う。
	委員	・ 各自治会に自主防災組織はあるのか。
	委員長	・ 若松自治会はあるが、他の自治会はわからない。
	会長	・ このことは、引き続き話し合っていきたい。
	教頭	

傍聴人 0 人（発言者数 0 人）